

俺の妹とその親友が以下略



成人向 フルHDサイズ 文章・セリフ付 CG集 オヤジマガジン

枚から留りたままになっているノートパソコンを盗って今日も俺はアタルトサイトを徘徊していた...のだが、リンクを辿った先でとても信じられないものを目にした。



(注意事項)

- ・この作品は18歳未満閲覧禁止です。
- ・この作品の内容は全てフィクションであり、実在するものとは一切関係ありません。
- ・この作品の登場人物は全て成人しており、未成年者はおりません。
- ・この作品は個人でお楽しみいただくものです、公開や他者への映示・譲渡等はしないで下さい。
- ・この作品の内容に含まれる犯罪や危険な行為を現実に行うことは一部であっても絶対にお止め下さい。

(免責)

- ・この作品のデータを実行・閲覧することにより、いかなる不具合・損害等が発生したとしても作者は一切の責任を負えません。

美少女モデル調教

HD

俺は再生ボタンを・・・押した。

目隠しがあっても妹を見間違っわけがない
鼓動は高鳴り腕が震える
あり得ないと思いつつも無視できるはずもなく



妹から借りたままになっているノートパソコンを使って
今日も俺はアダルトサイトを徘徊していた・・・のだが
リンクを辿った先でもとても信じられないものを目にした
そこに映し出されていたのは紛れもなく
俺にノートパソコンを貸した本人である妹、キリノと
その親友のアヤセだった。

今週の特別公開作品

00:00
会員特典満載 今すぐ登録!!

Print

HD

美少女モデル試写



今週の特別公開作品

00:00
会員特典満載 今すぐ登録!!

お決まりのインタビューから始まってはいるが
二人は腕を拘束されているようで
あきらかに嫌がっている……
動きも鈍い感じがする、薬でも使われたのだろうか
どう見てもまともな撮影とは思えない。

「はい、さあ、さあ、
ヤッ、ヤッ、ヤッ……!!」

くっ

「こんなの
聞いてませんや……!!」

少しは打ち解けたと思っていたキリノだが
最近は何部屋に籠もっていた
今までのこともあるので気にしてなかったが……
そう言えばアヤセも近頃見かけてない
まさか、これが原因なのか？



二人は脚を抱え上げられスカートの中が映し出される。
何てことをつ…怒りが込み上げるが
これは録画されたものであり、今はどうにもできない。

アハハ

ヤメな
ハハハ!!

ブリ
ブリ
ブリ
ブリ

「ほら、大人しくしろっ」

男達は手馴れた感じで二人を弄ぶ
キリノの股間には電動マッサージャーが押し当てられ
アヤセの股間には別の男がしゃぶりついている。

ん…ん…
うん…

二人を知る俺には耐え難い…
何度も見るのを止めようかと思ったが
それは出来なかった。

アハハ

アハハ



画面が切り替わると二人は下着を残して全裸にされていた
やはり両腕は拘束されていて首輪まで付けられている。
二人は美少女と言って過言ではないだろう
有名雑誌で読者モデルをしていることも知っている
だがこんな仕事は請けるはずがないことも知っている。

アッ

イヤです
放して

ム

ナ

二人の周りに男達が集まってくる、いったい何人いるんだ？
これから行われるであろう行為を想像すると
何も出来ず助けてやれない自分に歯痒さが募るが
その反面、二人の裸体の
その美しいラインから目が離せなくなっている俺がいた。



ベッドに押し倒された二人に容赦なく男が挿入する
ぐいつ……「いやあああつー」「あぐうつー」
何の躊躇もなく当然のように膣内を抉られる
二人の表情は苦痛に歪んでいるのが目隠し越しでもわかるが
男達は気持ち良さそうに腰を動かし続けている。

イイ具合の
マンコだぞ

ぐ
ぐ

ムチモだ

痛

ムチモのヤリ本!!
ムチモのヤリ本!!
嫌嫌

ムチモ

やめろっ! やめてくれっ!! 何度も叫びそうになったが
隣の部屋のキリノに聞こえてはマズイ気がして
俺は堪えるしかなかった。

ムチモ

ムチモ

ムチモ

あああ
ムチモ願



まさか中出しっ!?!
男達は膣内も外もお構いなしに射精している
「ふう、次誰だ? どんどんいけよ」
次々と男が小柄な裸体に覆い被さり蹂躪していく。
アップで映されたアヤセの股間からは
数人分のザーメンが溢れ出していた。

キリノの身体が小刻みに震え僅かに喘ぎ声が漏れる
無理矢理とはいえ何人もの男に激しく突かれ連続中出し
否応なく身体は絶頂を迎えてしまうのか...
女を何度もイカせるのが男達の目的でもあるのだろうか...
陵辱は休む間もなく続けられていく。

セクセク

グニッ

ハハッ...グニッ
セクセク

フワッ...
モウ許して

んあッ

ムッ
ムッ

グニッ...グニッ

ハッ



もう何人目か判らなくなった頃
今まで我慢していたのか
いった様子を見せなかつたアヤセが
その身体をひと際大きく跳ね上げた
溜まつていた快感を強制的に
弾けさせられたのだろう
まるで電流に貫かれたかのように
仰け反り激しく痙攣している。

立場上は許されないことだろうが
美少女が快感に悶え震える姿を見て、

俺は興奮してしまった。



どの位の時間が経ったのか編集映像では判らないが二人の股間から溢れ出る夥しい量のザーメンからも多人数の男達に犯され続けたことが見てとれる。脱力して開かれたザーメンまみれの股間はとても生々しく思わずキリノの兄であることを忘れて欲情しそうになる。



背徳的な興奮を覚えかけていた俺は罪悪感から、もうこれで終わることを願ったが「よし、ここからが本番だ、しっかり調教してやるからなっ」男の声が二人に掛けられ、調教という名の陵辱は続けられた。





「もうやめてえっ!!」

「まだ反抗的だ、もっと自分達の立場を理解するんだっ」

容赦のない責めが続く、二人の乳首は互いに繋がれ
千切れんばかりに引つ張られている。
「おっと、漏らしやがったか」
アヤセの股間からは小便が……

「何でも言つとおりにします、だから許してください……」
二人は力のない声で呟くように繰り返した。



「理解したのなら、今度は自分達で男をイかせてみる」
キリノやアヤセが自分から口で啜えるなんて
とても信じられない、想像すらできない光景だ
ましてや、知らない男のモノなんて・・・
好きな相手でも拒みそうな性格だと思っていたが
プロ(おそらく)の手に掛ければこうなってしまうのか。



「もっと奥までだ、舌も使えっ」
言われるがままに奉仕し続ける二人の股間には
相変わらずバイブが捻じ込まれて唸りを上げている。

「うぐっ！ げほっ、えほっ……」
頭を押えられ嘔吐きそうになり涎が身体をつたう
それでもまた啜え込み必死に奉仕している。

この二人にフェラチオさせてる男達を羨ましく思った俺は
欲望がモラルを越えてしまっていた。





「まだダメだな……」
フェラチオが不満だったのか
二人は床に頭を押さえ付けられた。
「ほら、ケツを突き出せ」
「な、なにを？」

画面に向かって突き出された
股間からは愛液が垂れ
ヌラヌラと光っている……
俺は興奮を抑えられない。





「あらあら、早く挿し込ませよ」

「いやああああっ」

浣腸後に挿入され、キリノが苦悶する。

どっどっ

ググググググググググ

ググググググググググ

ググググググググググ

ググググググググググ

ググググググググググ

堪えてはいるが肛門は盛り上がり、今にも破裂しそうだ

「もうダメえっ、トイレにつ、お、お願いいーっ!!!」

「くはっ、すぐく締まる」

漏らさないように必死に下半身に力を入れることで

男のモノも締め付けているのだろう

締めまり具合を楽しむように男はキリノを突き上げ続ける。



数分後、その瞬間はやってきた
気の狂わんばかりの絶叫
キリノの肛門は決壊し
大便が床に撒き散らされる。

人前で排便するなど、この年頃にとっては耐え難い恥辱だろう
しかし、身体を小刻みに震わせるキリノの口元からは
涎が垂れ下がり快感に打ち震えているようにも見える
決定的な恥辱を与えられ、箍が緩んでしまったのだろうか。





ビクビク
ブバアアツ、ブツ、ブブツ!!
のたうつアヤセも男に貫かれ
肛門からは大便が噴出している……

もう言葉もない
二人のこんな姿を見るなんて……
だがそんな気持ちとは裏腹に
俺の股間は張り切れんばかりに勃起していた。

ぐっ
ぐっ

グググ
グググ

下
グググ

出
グググ

あ
グググ

あ
グ



「クソしてスッキリしたろ、今度はケツ穴で輪姦してやる」
監督らしき男の合図で、また二人の周りに男達が群がる。

だが今回は少し様子が違う
浣腸の前後で二人の反応が変わったのだ
肛門に初めて挿入されたときこそは
苦悶の表情を浮かべた二人だが
それも数人を経るうちになくなり
今では何の抵抗もなく男達を受け入れている。

そればかりか
当初、強張っていた表情や身体からは力が抜け
口元は緩みきり、甘美な喘ぎ声さえも混じり始めていた。





性行為は更にエスカレートし、複数の男達がキリノに群がり
性器、肛門、口を同時に挿入するようになっていった。

キリノは絶頂し、悦楽の喘ぎ声をあげる
射精されると小刻みな痙攣を繰り返し
時折、獣じみた呻き声まで発している。
その激しさは一般人の俺からすると
一線を越えてしまっているように思えた。

ズルズル
ズルズル

ビクビク
ビクビク

ハハハハ
ハハハハ

ハハハハ
ハハハハ

ハハハハ
ハハハハ

ハハハハ
ハハハハ

ハハハハ

ハハハハ
ハハハハ





アヤセと男達が同時に絶頂を迎えたとき
悲鳴のような喘ぎ声で大きく肢体を震わせたアヤセは
気絶して人形のようになってしまったが
それでも次の男達が交代で挿入し続けて目を覚まさせる
男は交代するが彼女達は連続で繰り返して
意識を持っていかれるような快感を味わうのだろうか
そんな常識外な快感を身体が憶えてしまっっては
普通のセックスでは満足できなくなってしまうかもしれない。

ズブツ

グイッ

グイッ
グイッ
グイッ
グイッ

ズブツ
ズブツ

ガボッ

ズブツ
ズブツ
ズブツ
ズブツ





二人は男達が一巡した後も
道具等を使用して、されるがままに弄ばれ続けた
乳首やクリトリスといった敏感なところは局所的に責められ
涎に汗、愛液や尿まで様々な体液が垂れ流されている。
徹底的に性的快楽を与え続けられる二人は
放心しながらも絶頂を繰り返しては腰を揺すり震わせる
その腰の動きは更に男を誘っているかのようにも見えた。



「二人とも素質がありそうだ、人気AV女優になれるぞ」
「その気があれば、いつでも言ってくれよ」
監督らしき男のそんな言葉でこの映像は締め括られた。



HD

美少女モデル調教



今週の特別公開作品

00:00
会員特典満載 今すぐ登録!!

美少女モデル調教

HD

俺は再生ボタンを・・・押した。

鼓動は高鳴り腕が震える
あり得ないと思いつつも無視できるはずもなく

00:00

会員特典満載 今すぐ登録!!

今週の特別公開作品

妹から借りたままになっているノートパソコンを使って
今日も俺はアダルトサイトを徘徊していた・・・のだが
リンクを辿った先でも信じられないものを目にした
そこに映し出されていたのは紛れもなく
俺にノートパソコンを貸した本人である妹、キリノと
その親友のアヤセだった。

HD

美少女モデル



今週の特別公開作品

00:00
今すぐ登録!!

会員特典満載

お決まりのインタビューから始まってはいるが
二人は腕を拘束されているようで
あきらかに嫌がっている……
動きも鈍い感じがする、薬でも使われたのだろうか
どう見てもまともな撮影とは思えない。

「はい、30分、
ヤメなさい!!」

くっ

「こんなの
聞いてませんやん!!」

少しは打ち解けたと思っていたキリノだが
最近部屋に籠もっていた
今までのこともあるので気にしてなかったが……
そう言えばアヤセも近頃見かけてない
まさか、これが原因なのか?



二人は脚を抱え上げられスカートの中が映し出される。
何てことをつ…怒りが込み上げるが
これは録画されたものであり、今はどうにもできない。

アハハ

ヤメな
ハハハ!!

ブリブリ
ブリブリ
ブリブリ

「ほら、大人しくしろっ」

男達は手馴れた感じで二人を弄ぶ
キリノの股間には電動マッサージャーが押し当てられ
アヤセの股間には別の男がしゃぶりついている。


ん…ん…
うん…

アハハ

アハハ

二人を知る俺には耐え難い…
何度も見るのを止めようかと思ったが
それは出来なかった。





画面が切り替わると二人は下着を残して全裸にされていた
やはり両腕は拘束されていて首輪まで付けられている。
二人は美少女と言って過言ではないだろう
有名雑誌で読者モデルをしていることも知っている
だがこんな仕事は請けるはずがないことも知っている。

二人の周りに男達が集まってくる、いったい何人いるんだ？

これから行われるであろう行為を想像すると

何も出来ず助けてやれない自分に歯痒さが募るが

その反面、二人の裸体の

その美しいラインから目が離せなくなっている俺がいた。

イヤです
放してっ

アッ

ム

キ





まさか中出しっ!?!
男達は膣内も外もお構いなしに射精している
「ふう、次誰だ? どんどんいけよ」
次々と男が小柄な裸体に覆い被さり蹂躪していく。
アップで映されたアヤセの股間からは
数人分のザーメンが溢れ出していた。

キリノの身体が小刻みに震え僅かに喘ぎ声が漏れる
無理矢理とはいえ何人もの男に激しく突かれ連続中出し
否応なく身体は絶頂を迎えてしまうのか...
女を何度もイカせるのが男達の目的でもあるのだろうか...
陵辱は休む間もなく続けられていく。





もう何人目か判らなくなった頃
今まで我慢していたのか
いった様子を見せなかつたアヤセが
その身体をひと際大きく跳ね上げた
溜まつていた快感を強制的に
弾けさせられたのだろう
まるで電流に貫かれたかのように
仰け反り激しく痙攣している。

立場上は許されないことだろうが
美少女が快感に悶え震える姿を見て、

俺は興奮してしまった。



どの位の時間が経ったのか編集映像では判らないが二人の股間から溢れ出る夥しい量のザーメンからも多人数の男達に犯され続けたことが見てとれる。脱力して開かれたザーメンまみれの股間はとても生々しく思わずキリノの兄であることを忘れて欲情しそうになる。

はぁ

はぁはぁ……

はぁ

はぁ

うう

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

背徳的な興奮を覚えかけていた俺は

罪悪感から、もうこれで終わることを願ったが

「よし、ここからが本番だ、しっかり調教してやるからなっ」

男の声が二人に掛けられ、調教という名の陵辱は続けられた。



ビシッ、ビシッ
コンクリートの壁に乾いた音が響く、容赦のない鞭責め
吊るされたキリノの乳首はクリップで挟まれ
股間では極太パイプが激しく出し入れされている
「いやあああつ、ゆるしてえええつ!!」
涎に汗、股間からは潮、体液を撒き散らせて許しを請う姿は
普段のキリノを知る俺にとっては衝撃的だ。

見た目はもとより何をやらせても人並み以上
そんな妹が男達に屈服する姿を俺は見たかったのかも……
昂ぶる興奮の中、そんな考えが俺の頭をよぎる。




「もうやめてえっ!!」

「まだ反抗的だ、もっと自分達の立場を理解するんだっ」

容赦のない責めが続く、二人の乳首は互いに繋がれ
千切れんばかりに引つ張られている。
「おっと、漏らしやがったか」
アヤセの股間からは小便が……

「何でも言つとおりにします、だから許してください……」
二人は力のない声で呟くように繰り返した。





「理解したのなら、今度は自分達で男をイかせてみる」
キリノやアヤセが自分から口で啜えるなんて
とても信じられない、想像すらできない光景だ
ましてや、知らない男のモノなんて・・・
好きな相手でも拒みそうな性格だと思っていたが
プロ(おそろく)の手に掛ければこうなってしまうのか。



「もっと奥までだ、舌も使えっ」
言われるがままに奉仕し続ける二人の股間には
相変わらずバイブが捻じ込まれて唸りを上げている。

「うぐっ！ げほっ、えほっ……」
頭を押えられ嘔吐きそうになり涎が身体をつたう
それでもまた啜え込み必死に奉仕している。

この二人にフェラチオさせてる男達を羨ましく思った俺は
欲望がモラルを越えてしまっていた。





「まだダメだな……」
フェラチオが不満だったのか
二人は床に頭を押さえ付けられた。
「ほら、ケツを突き出せ」
「な、なにを？」

画面に向かって突き出された
股間からは愛液が垂れ
ヌラヌラと光っている……
俺は興奮を抑えられない。







数分後、その瞬間はやってきた
気の狂わんばかりの絶叫
キリノの肛門は決壊し
大便が床に撒き散らされる。

人前で排便するなど、この年頃にとっては耐え難い恥辱だろう
しかし、身体を小刻みに震わせるキリノの口元からは
涎が垂れ下がり快感に打ち震えているようにも見える
決定的な恥辱を与えられ、箍が緩んでしまったのだろうか。





ブバアアツ、ブツ、ブブツ!!
のたうつアヤセも男に貫かれ
肛門からは大便が噴出している……

もう言葉もない
二人のこんな姿を見るなんて……
だがそんな気持ちとは裏腹に
俺の股間は張り切れんばかりに勃起していた。

ぐっ
ぐっ

グググ
グググ

ヒクヒク

あ
あ

あ
あ

出
出

下
下



「クソしてスッキリしたろ、今度はケツ穴で輪姦してやる」
監督らしき男の合図で、また二人の周りに男達が群がる。

だが今回は少し様子が違う
浣腸の前後で二人の反応が変わったのだ
肛門に初めて挿入されたときこそは
苦悶の表情を浮かべた二人だが
それも数人を経るうちになくなり
今では何の抵抗もなく男達を受け入れている。

そればかりか
当初、強張っていた表情や身体からは力が抜け、目は虚ろに
口元は緩みきり、甘美な喘ぎ声さえも混じり始めていた。





性行為は更にエスカレートし、複数の男達がキリノに群がり
性器、肛門、口を同時に挿入するようになっていった。

キリノは絶頂し、悦楽の喘ぎ声をあげる
射精されると小刻みな痙攣を繰り返す
時折、獣じみた呻き声まで発している。
虚ろな目をして快楽を貪る
AV女優の演技だと思っていた表情
そんな表情をキリノがしていた。

ズルズル
ズルズル

ビクッ
ビクッ

ズル
ズル

ズルズル
ズルズル

ズル
ズル

ズル
ズル







アヤセと男達が同時に絶頂を迎えたとき
悲鳴のような喘ぎ声で大きく肢体を震わせたアヤセは
気絶して人形のようになってしまったが
それでも次の男達が交代で挿入し続けて目を覚まさせる
男は交代するが彼女達は連続で繰り返して
意識を持っていかれるような快感を味わうのだろうか
そんな常識外な快感を身体が憶えてしまっっては
普通のセックスでは満足できなくなってしまうかもしれない。

ズブツ

グイッ

グイッ
グイッ
グイッ

ガボッ

ズブツ
ズブツ

ズブツ



二人は男達が一巡した後も
道具等を使用して、されるがままに弄ばれ続けた
乳首やクリトリスといった敏感なところは局所的に責められ
涎に汗、愛液や尿まで様々な体液が垂れ流されている。
徹底的に性的快楽を与え続けられる二人は
放心しながらも絶頂を繰り返しては腰を揺すり震わせる
その腰の動きは更に男を誘っているかのようにも見えた。



「二人とも、いい表情するようになったじゃないか」
「AV女優になる気があれば、いつでも言ってくれよ」
監督らしき男のそんな言葉でこの映像は締め括られた。



HD

美少女モデル調教

このことでキリノが人生相談してきたら
俺はどう応えればいい？

……とりあえず、パソコンは拭いておこう。

||終||

妹とその友人のこんな姿を見て欲情するなんて
とんでもないダメ兄貴だな、俺は……

……はあ……はあ……はあ

今週の特別公開作品

00:00
会員特典満載 今すぐ登録!!

HD

美少女モデル調教



今週の特別公開作品

00:00

会員特典満載 今すぐ登録!!

二度は、

お買い上げくださり誠に
ありがとうございます。

次回作もよろしく
お願いいたします!!

オソマツサマ

でした。

<http://osomatsusama.sakura.ne.jp/>
message@osomatsusama.sakura.ne.jp

